

# KIT虎ノ門大学院 学習支援計画書(シラバス)

※ 欠席・遅刻する場合は、事前相談/連絡を徹底してください。(連絡先: 虎ノ門事務室 [メールまたは電話])  
 ※ 授業中の食事は控えてください。携帯電話はマナーモードにするなど、受講するにあたってのマナーをお守りください。

科目名		科目コード	単位数	開講期
知的財産戦略実務特論 2		Z 150	1 単位	4 学期
Intellectual Property Strategy Practicum 2				
科目分野		課程領域		
知的財産戦略		知的財産マネジメント専門科目		
担当教員名	メールアドレス	連絡方法 / オフィスアワー		
酒井 宏明 長澤 健一 守屋 文彦 別所 弘和 百瀬 隆	-	メールアポイントにて随時		

関連している科目(履修推奨科目)		
知的財産マネジメント要論	知的財産戦略実務特論 1	知的財産契約特論
IPランドスケープ要論	特許情報実務特論	技術標準化と経営戦略特論

## 授業の概要と到達目標

### 授業の主題と概要

企業における知的財産戦略の実務を理解し、知財戦略を立案・実行するための知識を修得させることにより、企業における知的財産専門家及び管理者としての両面を満たすことのできる実務的な能力を身に付けることを本講義のテーマとする。

講義は、わが国で知財先進企業と評価される4社の知財部門の責任者(現役及び元職)である著名な4名の実務家客員教授により、現場での生々しい知財と知財戦略について講義を行う。各教員の一つ一つの言葉に、真剣に耳を傾け、知財(ここでは、特許に関するものが多いが)のパワーと、現実に実践された知財戦略を感得してもらいたい。

知財は、出願件数を競うものではなく、企業価値を最大化させるための最強のツールとして活用すべきものであり、知財戦略は、企業経営に多大な影響を及ぼす知財のパワーを最大限にまで引き出す方法論である。そして、戦略の成功・失敗は、戦略策定の緻細さと、策定された戦略を実行する大胆さに左右される。特に、戦略実行の大胆さについては、多様で、かつ、深い、かなりの数の経験に大いに影響を受けることがわかるであろう。各教員が、いくつもの、知財における実際の修羅場をくぐり抜けてきた真の“いくさ人”であるからこそ、講義における一つ一つの言葉は、真の知財プロを目指す院生の心に、必ずや今後の指針を残すであろう。

### 到達(修得)目標

知的財産戦略の実務を学び、その運用実践のための基本的事項を理解し、戦略立案に必要な事項を企業の状況に応じ判断でき、企業における知的財産戦略の立案・実行ができるようになる。

### 受講対象者

知的財産部門の企画、管理等担当者、マネージャー、CIPO等、またはこれらを目指す者/知的財産戦略の実践を目指す企業経営者、経営企画者等/大学・TLO・研究機関等の知的財産企画・管理担当者等/弁理士/知的財産経営コンサルタント等

### 履修上の注意事項やアドバイス

知的財産戦略とその実務に関する守備範囲はかなり広く、ここで学ばなければならない内容も多岐にわたる。したがって、一つ一つ整理をし、不明な点は積極的に授業の内外を問わず質問してもらいたい。

※ 欠席が、2コマ(90分=1コマ)を超える場合は、単位修得にも影響する。欠席の際は、事前連絡を徹底すること。

※ 担当する教員は実務家教員とする。

※ 授業にて配布する資料等教材や講義収録映像・音声の無断転用・転載を禁じます。

### コンピテンシ修得目標

知識領域 (Y軸)		ヒューマンパワー (Z軸)		思考プロセス (X軸)	
Y1: 基盤法令・テクノロジー	○	Z1: 問題発見力	○	X1: 企画	○
Y2: 応用法令・実務・テクノロジー	○	Z2: 独創力	○	X2: 構想	○
Y3: グローバル法令・実務	○	Z3: 問題解決力	○	X3: 調査・分析	○
Y4: マネジメント	○	Z4: プレゼンテーション力	○	X4: 設計・開発	○
Y5: 戦略立案	○	Z5: 変革推進力	○	X5: 変革	○
Y6: 標準化	○	Z6: コミュニケーション力	○	X6: 導入・運用	○
		Z7: リーダーシップ力	○	X7: 評価・検証	
		Z8: ネゴシエーション力		X8: リーガルマインド	
		Z9: オーナーシップ力		X9: ライフサイクル	

### プラクティカム

イベント / ケース	教育技法	マテリアル / ツール
1	講義/レポート提出	教室

評価の方法		
(総合評価項目と割合)		評価の要点
平常点(出席含む)	10%	毎回、事務室より出席簿を準備する。 レポート(4回)の課題、提出時期等については、原則として授業時に発表する。
レポート評価	90%	
合計	100%	

テキスト・参考図書など		備考
※ 追加する場合を含め、一部変更となる場合もございますので予めご了承ください		
テキスト (購入が必要)	適時資料を配布	知財先進企業で知的財産を統括してきた、この業界でも大変著名な教員による講義であるので、興味深く、文献等にはない貴重な内容となる。
参考図書 (購入は任意・講師推奨)	適宜紹介する	

参考URL
各講師が在籍している(していた)企業のURLを適時参照

コマ	学習内容	担当者	時間
1.2	<b>企業における知的財産及び知的財産部の役割 知的財産戦略の最新事例についてのケーススタディ(1)</b> IoT/AIを駆使用する電気機器分野、特に、イメージング、プリンティング、メディカル、インダストリー等、異なるビジネスをグローバルで行う場合に特有の知的財産戦略に焦点を当てて、ここ数年行ってきた活動、コロナ禍ESG経営、経済安全保障等の昨今の情勢に鑑みた今後の活動、更には、法制度の在り方などを交えて講義する。特に、キャングループにおける発明の取扱い、権利化、権利活用を含む知的財産戦略とマネジメントについて具体的事例を示して説明する。	長澤	180分
	イベント		
3.4	<b>知的財産戦略の最新事例についてのケーススタディ(2)</b> ○情報通信技術分野における経営戦略のツールとしての知的財産について、プロダクトライフサイクルを踏まえて、活用事例を紹介する。特に、経営戦略を踏まえて知財戦略を策定することの重要性について理解を深めることを目的とする。 ○Society 5.0 時代における標準必須特許利用の課題とその解法についても触れる。 参考: 特許庁 標準必須特許ライセンスガイド	守屋	180分
	イベント		
5.6	<b>知的財産戦略の最新事例についてのケーススタディ(3)</b> ○自動車分野(ホンダ)の知的財産戦略 自動車分野に特有の知的財産戦略に焦点を当てて、発明の取扱い、権利化、及び権利活用における知的財産戦略とマネジメントについて、特にホンダにおける具体的事例を含めて講義する。	別所	180分
	イベント		
7.8	<b>知的財産戦略の最新事例についてのケーススタディ(4)</b> ○知財戦略を強化する組織づくり 知財戦略を強化するために、なぜ三位一体の知財活動が必要となるのか、その理由について解説する。そして、三位一体を実現化するモデルの一つとして、知財活動チームを活用した事例を紹介する。 ○産学連携を強化するための知財戦略 化学分野での産学連携の事例を紹介すると共に、大学と企業のそれぞれが持つ知識的な特徴を切り口として、産学連携の意義を考えていく。	百瀬	180分
	イベント		

※ 講義日程は、学事ポータルでの講義日程表をご参照ください。  
 ※ 学習内容やスケジュールは、状況に応じて一部変更・改善が生じる場合があります。  
 ※ 講義収録は、特別講師を招く場合など、内容によっては収録できない場合があります。

専任教授 確認記録欄
確認者氏名: 酒井 宏明